

～ 小国川だより ～

創刊号 平成20年6月7日

最上総合支庁 建設部 河川砂防課

最上小国川は、国内でも有数のアユの生息する清流として知られています。しかし一方流域では、これまで何度も水害に見舞われています。このため、最上小国川流域の治水対策について、検討を重ねてまいりました。今回、5月28日に開催されました報告会の状況についてお知らせいたします。

今後、引き続き、皆様に「小国川だより」をお届けしたいと考えております。

5月28日、最上小国川治水対策事業報告会を開催



当初、地元説明会を3月13日に予定しましたが、都合により延期となっていました。

この報告会（説明会）が、5月28日（水）の夜7時から最上町中央公民館で開催されました。当日は、350名の方々にご参加いただきました。夜分お疲れのところ、大勢の方々にご参加いただき、感謝申し上げます。

初めに、山形県土木部の高村義晴土木部長からあいさつがあり、県が国に提出した資料に漁協役員のダム建設の賛否を記していたことについて、行き過ぎがあったとして、陳謝しました。

また、地域あつてのダムであり、一刻も早い安全を確保していきたいとの話がありました。



また、高橋重美最上町長からは、これまでの水害の経験から安全・安心の担保が不可欠であること、それに基づくまちづくりをしていきたいとのごあいさつをいただきました。

昨年度の環境調査と温泉調査の結果について、そして、平成20年度の調査予定について説明いたしました。

参加の方々からも、さまざまなご意見ご質問をいただきました。

1) 平成19年度環境調査について説明しました

- ・環境調査の目的及び、環境影響評価法と県条例に準じて検討を行うことについて
- ・猛禽類（クマタカ・オオタカ他）、鳥類（ヤマセミ・オシドリ他）、昆虫類の生息状況について
- ・藻類及びはみあと（アユが藻を食べた後の藻の剥離状況）調査について

環境調査についての質疑応答要旨

Q；環境調査の藻類及びはみあとの調査はいつから行っているのか。経年の数値を比較した場合、上がっているのか、下がっているのか。

A；藻類の調査はH15から一部実施していますが、詳細な調査はH19からの実施です。数値については、数が少なく、まだ比較ができません。



2) 平成19年度温泉調査について説明しました

- ・赤倉温泉の特徴について
- ・赤倉温泉の湧出機構について
- ・河川改修と源泉への影響について
- ・河川工事による温泉への影響事例について

【財団法人中央温泉研究所の調査結果】

温泉地近くでの河川工事による影響《自然湧出源泉、掘削源泉のごく浅い源泉の場合》

自然湧出泉では、河床掘削の際に掘削部から温泉が湧出することは避けられず、工事中には大きな影響が予想される。工事後にはある程度回復させることは可能だが、原状復旧することは困難であろうと想像する（河川工事箇所温泉流動域が拡散してしまうため、それを抑止することが困難）。自然湧出部に湯舟を設けている旅館では浴槽運転に恒久的な支障が生じる可能性が高い。

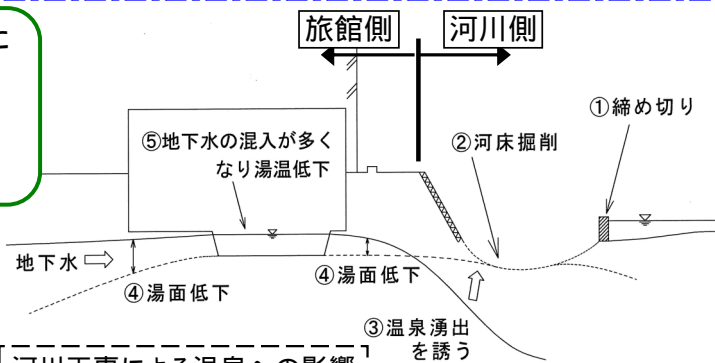
3) 平成20年度の調査について説明しました

- ・環境調査の予定について
- ・地質調査と設計について
- ・河道計画と温泉影響調査について
- ・治水対策と流域の活性化について

特に「最上小国川流域環境保全協議会（仮称）」を設置し、環境保全及び環境影響について評価・検討を行うことを説明しました



ご意見、ご質問は、右記、お問合せ先へお寄せ下さい。電話等の口頭ですと、聞き漏らし等が出かねませんので、メールや手紙などの文章でお願い致します。



【河川工事による温泉への影響】

温泉調査についての質疑応答要旨

- Q；温泉調査報告書は、表面調査と聴き取り調査のみで、ボーリング調査は1本では足りないのではないか。温泉調査のメカニズムの解明にはもっと科学的な調査が必要ではないか。
- A；むしろ表面調査が重要です。
- Q；瀬見地区では80年前に比べると河床が1メートルは下がっている。河床が下がって温泉が出なくなった事例はあるのか。
- A；事例はあります。最近では、ポンプアップで河床低下にも対応できていますが、自然湧泉は対応できなくなります。



その他、下記の質問等が出されました。（要旨掲載）

- Q；ダムに関連して河川改修事業費60億円が予定されているが、最上町の業者に仕事が来るのか。
- A；ダム建設工事による経済効果は一時的なものであり、県としてはこの地域を安全にし、いろいろな方に来てもらう事での地域活性化を図ってまいりたいと考えております。

意見；地元では、大雨で苦労している。早くダムを建設してほしい。（建設促進を求める声に会場中に拍手が起こった。）

発行：最上総合支庁 建設部 河川砂防課
最上小国川ダム建設室
〒996-0002 山形県 新庄市 金沢 大道上 2034
お問合せ先 電話 0233-29-1407
Email - 【前画面を参考にして下さい。】